

古の風景が残る京田辺を歩く



出発駅
JR京田辺駅
徒歩 約8.5km
所要時間
約2時間40分





学研都市に残る歴史と文化

京田辺は生駒山系に連なる甘南備山の丘陵地帯にあり、古くから南山城の文化の中心として栄えてきた。数多く残る歴史と文化、遺跡を心ゆくまで味わってみよう。

田辺公園から京田辺の町並みを望む

京田辺名物 コレが人気の おみやげ

一休寺(酬恩庵)

一休寺納豆
一休禅師の遺法といわれる一休寺納豆。保存食として珍重されてきた。お茶請けやお酒のおつまみにもおすすめ。

●一休寺納豆850円～2,800円
🕒9時～17時 🏠無休
☎0774(62)0193

舞妓の茶本舗本店

抹茶ぼーるちょこ
抹茶の苦みとチョコレートの甘さが、クセになる。一粒の中で味の変化が楽しめるお菓子。

●抹茶ぼーるちょこ432円～1,080円
🕒8時30分～17時 🏠年末年始
☎0120(71)0077 ※平日8時30分～17時

見る 楽しめる 歳時記

- 1月3日 新春甘南備山初登り(甘南備山)
- 1月15日 とんど(市内各所)
- 4月上旬 花見ウォーク(観光案内所→大御堂観音寺)
- 4月上旬 桜並木(大御堂観音寺)
- 5月 茶摘み(市内各所)
- 8月15・16日 観音三十三身園特別公開(一休寺)
- 10月中旬 ずいき神輿巡行(隔年/棚倉孫神社)
- 11月上旬 市民まつり(市役所周辺)
- 11月上旬 子供まつり(中央体育館)
- 11月21日 開山忌(一休寺)
- 11月下旬 産業祭(市役所周辺)

おすすめスポットガイド SPOT GUIDE



極彩色豊かな「ずいき神輿」

📍棚倉孫神社 たなくらひこじんじゃ

江戸時代には、天神社または天満宮として親しまれていたが、明治になり式内棚倉孫神社と改めた。2年に1度(西暦の奇数年)の10月中旬、五穀豊穡を祝い、屋根に赤ずいき、鳥居に青ずいきなど、30種類以上の野菜や果実で色艶やかに飾られた「ずいき神輿」が巡行される。

🕒境内拝観自由 ☎0774(62)2460



とんちの一休さんゆかりの禅寺

📍一休寺(酬恩庵) いっしゅうじ(しゅうおんあん)

元の名は妙勝寺といい、鎌倉時代に臨済宗の高僧大應国師(だいうごくし)が建立したのが始まり。6代の法孫にあたる「とんちの和尚さん」で知られる一休禅師が63歳のときに再興。師恩に報いる意味で「酬恩庵」と命名。晩年をこの寺で過ごしたことから「一休寺」の通称で知られるようになった。

🕒9時～17時(宝物殿9時30分～16時30分)
🏠中学生以上500円、中学生以下250円
☎0774(62)0193



霊験あらたかな神社

📍酒屋神社 さかやしんじゃ

神功皇后が三韓遠征の時、神社背後の山に酒壺を3つ安置して出立。帰国後、その霊験に感謝して社殿を創立し、酒屋神社と名付けたと伝わる。神功皇后が朝鮮より持ち帰った、「九山八海の石」が今もここにあるとか。

🕒境内拝観自由



『今昔物語』に登場する禅寺

📍甘南備寺 かんなびじ

奈良時代の僧、行基(ぎょうぎ)により開創と伝わっている。当時は甘南備山中に建てられ、小規模ながら七伽藍があったとされる。平安末期の『今昔物語』第14巻に当時の寺の様子が綴られている。元禄2年(1689)、現在の地に本堂だけが移転。鉄堂(てつどう)禅師を請じ、黄檗宗の寺となる。

🕒境内拝観自由 ☎0774(62)0358



市民の憩いの場

📍田辺公園 たなべこうえん

もともと竹藪であった地を京田辺市が市民公園として開発。全国でも珍しいスケートパークがあり、ストリートスポーツを無料で楽しむことができる。また、展望広場からは市街地の美しい景色が一望でき、親子連れが多い。



桜の名所でもある古刹

📍大御堂観音寺 おおみどうかんのんじ

創建は天武天皇の時代と伝わる。御本尊は国宝の十一面観音立像。若々しい表情と立ち姿が美しく天平仏を代表する仏像。昭和期の高度な補修技術により現状の姿に整えられた。桜と菜の花の名所でもある。

🕒9時～17時 🏠400円 ☎0774(62)0668